

“租税教室”

1月30日 東小学校(山北)



東小学校6年生51人が、市職員から税金の仕組みや使われ方などを学びました。児童たちは、税金が日常生活のさまざまな場面で使われていることを知り、驚いた様子でした。

岡山湯郷Belleの選手による読み聞かせ

2月8日 市立図書館



岡山湯郷ベルの加戸由佳選手と水島久美選手の絵本の読み聞かせに親子約30人が参加しました。選手は、『はらぺこあおむし』などの絵本を表現力豊かに読み聞かせました。

美作の国つやま検定

2月11日 津山商業高等学校(山北)



津山の歴史や文化、観光などの分野から出題されるご当地検定が行われ、県内外から38人が受験しました。受験者は美作国建国1300年記念事業に関する問題などに真剣な表情で取り組んでいました。

バレンタインクッキング

2月11日 中央児童館(山北)



小学生11人がチョコレート作りに挑戦しました。参加者は、好きな人や友達などにプレゼントをするため、ハートや星の型に流し込んだチョコレートを可愛く飾り付けていきました。

親子で楽しむ民話の会

2月16日 久米図書館(中北下)



郷土の民話を研究する立石憲利さんたちによる民話を語る会が行われ、約60人が参加しました。会場は「餅と3人の小僧さん」や「茶栗柿麩」など滑稽な話に、温かな笑いに包まれました。



おせち料理で文化交流

アフリカ青年研修事業・津山東高校訪問(調理実習)

1月19日～2月6日、開発途上国の若者を招いて、専門分野の知識や技術を向上させようとする青年研修事業が行われ、セネガルなどアフリカ諸国から21人が津山を訪れました。

研修団は、市内の学校施設などを訪れ、交流を深めました。このうち、1月31日の津山東高等学校への訪問では、旧正月にちなみ、食物栄養科の生徒と一緒に、雑煮や松風焼などのおせち料理を作り、会食を通して日本の文化を味わいました。



元気に「鬼は～外、福は～内」

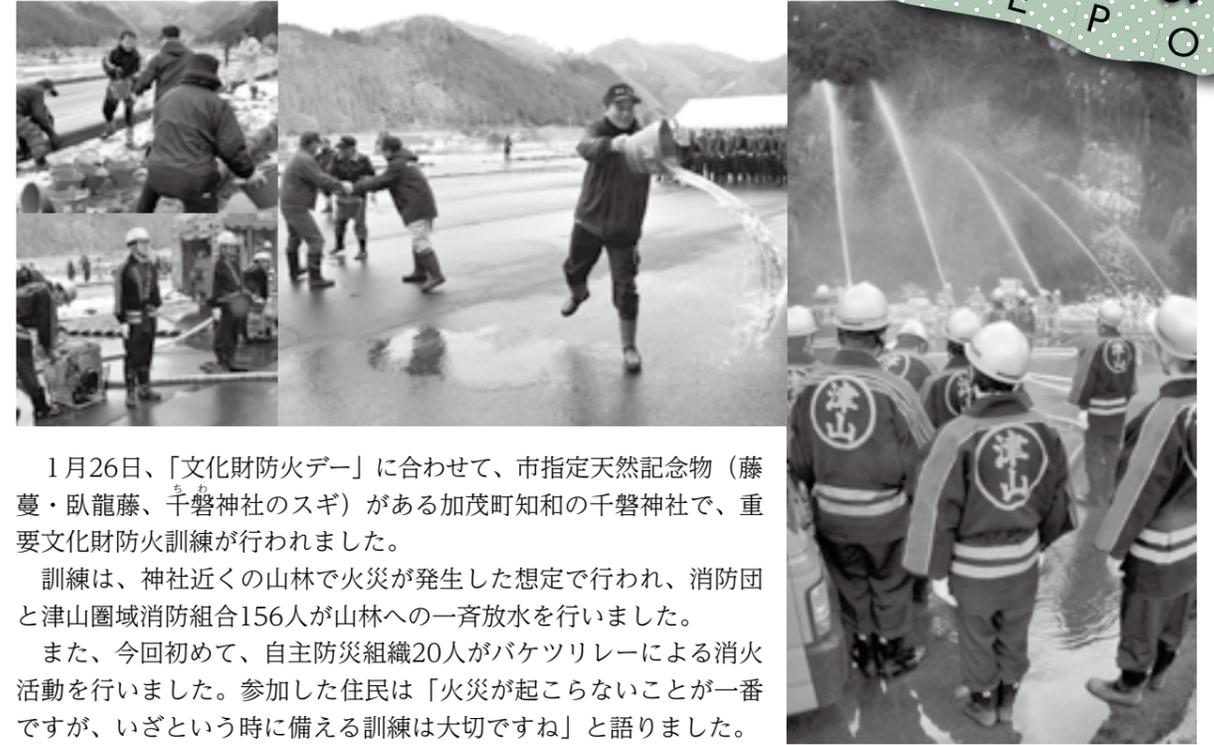
節分豆まき

節分を迎えた2月3日、鶴山幼稚園の園児たちが遊戯室に集まり「まめまき」や「鬼のパンツ」などのお遊戯をしていると、鬼が3匹現れました。

鬼は金棒を振り回し、園児をさらおうとしますが、園児は声を合わせて「鬼は～外、福は～内」と豆を鬼に投げつけて、鬼を退治しました。すると、福の神が現れ「心の中に住む悪い鬼をやっつける強い心を授けよう」と、園児たちの頭を鈴で撫でてまわりました。

地域の宝は、地域で守る

津山市消防団 重要文化財防火訓練



1月26日、「文化財防火デー」に合わせて、市指定天然記念物(藤蔓・臥龍藤、千磐神社のスギ)がある加茂町知和の千磐神社で、重要文化財防火訓練が行われました。

訓練は、神社近くの山林で火災が発生した想定で行われ、消防団と津山圏域消防組合156人が山林への一斉放水を行いました。

また、今回初めて、自主防災組織20人がバケツリレーによる消火活動を行いました。参加した住民は「火災が起こらないことが一番ですが、いざという時に備える訓練は大切ですね」と語りました。

郷土の秀作に見入る

つやまギャラリー「郷土の画人たちⅡ」

1月30日～2月6日、市が所蔵する地元出身の芸術家たちの絵画や書などの展覧会が津山市地域交流センター(アルネ・津山4階)で開催され、多くの観覧者が訪れました。

会場には、永礼孝二や庄野ヒカルなど、海外でも高い評価を受けている作家や「彫書」という分野を確立させた彫無季の作品も展示されました。

観覧者は、普段目に触れることが少ない貴重な作品を、一作品ごとに足を止め、興味深げに鑑賞していました。



パワースポットを巡り運氣上昇!?

学問の聖地・津山～合格パワースポットを巡る旅～

1月25日、市内にある学問に関するパワースポットを巡るモニターツアーが行われ、高知県など県内外から18人が参加しました。

参加者は、東京大学の教授第1号といわれる^{みつぐり}箕作阮甫の旧宅や津山洋学資料館、菅原道真が自分の身代わりに木像を残したことに起源する八出天満宮など、津山に伝わる学問のスポットを巡りました。

また、旧津山扇形機関車庫では、列車の「すべり止め」に使われる砂を採取して八出天満宮で祈禱してもらったものをお土産として持ち帰りました。